

となしく

幼兒の理想

保母或時幼兒に向て大きくなりて後何になりた
きかを問ふ一男兒答へて「お金が儲かるから車夫になりたい」と言ふ即ち各兒に付き何になりたきか、儲けし金を如何にするかを問ひて得たる答左の如し

(何になるか)

(金を如何にする)

荷車を引いて海苔やなんかを

か)

賣りに行くのそれを賣てしま

洋服とサーベルと

つて店で小僧をしてお金がで
きたら銀行にいれてそしてし
まひにお金持になる

を買ふ

帽子屋になつて帽子をお店へ

阿母さんに上げる

持つて行く

お餅屋になつてしたちをつ
あかんばに靴を買
けて焼いて人が買ひに來たら
て遣る

賣る

車夫さんになりたいお金が儲
かるから其お金で着物を買ふ
着物をよびすと阿母さんに叱

られるから

八百屋

牛肉屋

以上男兒

銀行に預ける

銀行に預けて置いて
てラツバシ買ふ

着物を買ふ

玩具を買ふ
着物と風船を買ふ

簪屋
玩具屋
烟草屋

反物屋
煙草屋
牛乳屋

以上女兒

肩掛を買ふ
簪を買ふ
風船を買ふ

右は満六年以上六年十一月に至る幼兒

左の條項は、大阪川口二十五番ダニエル氏より送附されたるものなり、

小兒に關する取調

一、嬰兒に現はるゝ愛情の最初の徵候は如何なるものなるや、而して誰に對して最初に其愛情は現はるゝか、又其愛情は如何様にして現はされ而して如何なる程度迄其は自然なるや元來嬰兒の依頼心は粹然たる感情より起れるものなるか、明かに示されたし、

二、極幼少の頃より幼年迄の間に同性（男性同士或は女性同志）又は異性間に表はれたる友情を明記し且つ智育、德育、体育上に如何なる關係を及ぼせしかを示されたし、而して猶友情を結びたる兩小兒の年齢と其友情の永續せる年限とを記し其結果は善かりしか、果た惡しかりしか、果た無効なりしかを述べられたし、

三、小兒の嫌惡する所のものは何なるかを列舉されよ、而して如何にして其嫌惡の念は現はされるや、而して猶其嫌惡は生理上よりか或は又或る特種のとに對して起りしか果た心理上若くは德義上に起因せるか是等を特に注意して出來得る限り原因を逆上りて取調ありたし、

四、若一或る小兒の團体につき視察し得る機會あらば其團体の全數に比較して殊に友誼を結べる